

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

第一生命保険株式会社（証券コード：-）

【据置】

長期発行体格付	A +
格付の見通し	安定的
保険金支払能力格付	A +
格付の見通し	安定的

格付事由

- (1) 当社は、保有契約規模で国内第2位の大手生命保険グループ、第一生命グループの中核会社。グループは、国内生保事業を中心に、海外生保事業、アセットマネジメント事業などを展開している。グループは16年10月に持株会社体制に移行した。傘下の国内外の事業会社が増加し事業が多様化していくなか、コーポレートガバナンス態勢の強化を図る方針である。当社の格付は、グループ全体の信用力を反映している。国内における堅固な事業基盤、グループの収益力、リスク量対比でみた一定の資本充実度などが格付を支えている。業界を取り巻く事業環境は厳しく、足元の金利低下に伴い商品設計や資産運用において柔軟性を確保することが難しくなっている。JCRでは、各社の戦略を考察し、その内容と実効性などを引き続き確認していく。
- (2) 2010年に株式会社化と上場を実現して以降、国内市場における顧客ニーズの多様化への対応に加え、海外展開にも注力するなど、企業価値増大に向けさまざまな施策をとってきた。国内生保事業では、当社のメインチャネルである営業職員を中核とし、第一フロンティア生命においては金融機関窓販事業を展開してきた。来店型保険ショップなどに対応するネオファースト生命を含め、コスト効率を勘案しつつ販売チャネルの複線化を進めてきた。海外生保事業においては、15年に買収した米プロテクト社をはじめとする海外各社の利益貢献が拡大しており、グループの連結最終利益の約3割を占めている。16年3月には、かんぼ生命との業務提携を開始しており、ベトナムにおける海外生保事業の協働や資産運用会社の共同利用などを進めている。
- (3) グループの保有契約年換算保険料は、為替影響を除くと増加基調を維持している。比較的高い収益性を伴う第三分野商品の保有契約が増加傾向にあり、厚い危険差益を安定的に確保している。もっとも、17/3期上半期におけるグループの基礎利益は前年同期比で減少した。当社における順ざや額の縮小に加え、一部の一時払商品の販売抑制や戦略的経費を含めた保険関係損益の減少が影響した。超低金利環境の影響は短期には限定的とみられるが、長期化による影響には留意が必要である。経済価値ベースの企業価値を示すグループEEVは、経済前提と実績との差異を主因に16年3月末にかけて大きく減少した。一部の貯蓄性商品の販売を抑制しつつ、若年層向け新商品の投入など保障性商品への一層の注力により商品構成が徐々に変化している。各チャネルによって販売される商品のリスク対リターンを確保し、新契約価値などの「営業活動の成果に伴うEEVの増加額」を積み上げ、変動を抑制しつつEEVの増加につなげられるかJCRでは注視していく。
- (4) グループはERMを導入し、リスク管理を基軸とした収益や資本の一体的な管理態勢を構築しており、資本配賦を含めERMの経営への活用度合いが高まっている。内部留保の蓄積や資本調達によって、資本基盤が強化されたことから、グループ連結ベースでリスク量対比一定の資本充実度を維持している。もっとも、グループは、資産と負債のデュレーションギャップから金利リスクを抱えており、経済価値ベースの健全性を示す資本充足率は16年3月末にかけて急速に悪化した。国内外の金融環境が変化するなか、グローバルかつグループ一体的なガバナンス態勢の整備がより重要となっている。JCRでは、持株会社体制におけるERMの活用状況に注目していく。

（担当）水口 啓子・宮尾 知浩

格付対象

発行体：第一生命保険株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的
保険金支払能力	A+	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2017年1月24日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：水口 啓子
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「生命保険」（2013年7月1日）、「保険持株会社および傘下子会社の格付け」（2005年5月31日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 第一生命保険株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル